

2023 年度 北海道 NPO ファンド 事業報告書

2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日

2023 年度概況

22 年度は、休眠預金助成を中心に 5400 万円の助成支出となりました。

年度(10～9月)	経常収入	支払助成金
2015	178,549	1,040,000
2016	517,412	3,197,501
2017	2,649,757	3,795,258
2018	34,100,288	12,021,711
2019	9,890,089	14,499,000
2020	84,121,972	72,261,270

2021	60,695,779	35,497,876
2022	50,972,442	37,055,250
2023	73,734,870	54,024,082

1. 助成実績

1) 越智基金・市民活動支援基金

一般公募により、道内の NPO 法人・市民活動団体への助成を実施しました。越智基金としては 24 年で最後の助成になり、越智基金残額はゼロとなる見込みです。

参考として、2024 年に公募した助成概要を記載します。

応募総数 36 団体 助成予定団体 13 団体 助成予定:52 万円

2) 越智基金・市民活動支援基金ウィズ/ポストコロナ特別枠助成およびウクライナ等国際紛争避難者支援活動特別枠助成

2022 年 3 月に解散した NPO 法人ほっとステーションひだまり様の寄付により造成されました。こちらの基金も前述の助成と一体的に行い、基金残額がゼロになりました。

<特別枠概要>

寄付額 1844642 円 (3 月末に受領済み)

事務手数料 寄付額の 10% 184464 円

助成額 1660178 円

「ウクライナ等国際紛争避難者支援活動特別枠」 83 万円178 円

「ウィズ/ポストコロナの市民活動特別枠」83 万円

2) 北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地支援基金(いぶり基金)

2021 年度第 8 回の助成を終え、基金残額が事実上ゼロとなりました。寄付募集を中止し、以後は「北海道災害復興支援基金」がその役割を引き継ぐこととなります。

いぶり基金は、北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地における支援活動を支えるための基金です。

(特別助成枠)

基金残額 201 万円。基金残額は、156 万円となりました。北海道 NPO サポートセンターと意見交換をしながら中長期的観点による助成を目指します。

3) こども基金

こども基金は常設型でこども分野で活動する団体への助成を目的としています。

今年度助成実績はありません。

4) まちのプロジェクト基金

組織診断+クラウドファンディングを特徴にした、組織力向上を意図した新しい助成プログラムです。助成を受けて実施した2期の実績を検討して3期目の実施を目指していますが2023年度は実施へ向けた検討ができませんでした。

HPリニューアルや、寄付募集方法とあわせ、まちのプロジェクト基金のようないわゆる事業指定型寄付助成プログラムの検討も必要であると認識しています。

5) コープ2018年北海道地震ボランティア応援基金

北海道生協連さまより、胆振東部地震被災地におけるNPO・ボランティア団体による支援活動に対する助成を目的に造成された冠基金です。

すべての助成を終え、3年間の活動報告書の制作にかかりました。年度末時点で完成していません。

6) 厚真町子ども応援基金

匿名希望者様により造成された、胆振東部地震被災地である厚真町の子どもを支援する活動に助成する基金です。助成団体を指定する助成事業であり公募はしませんでした。実施団体からは年度ごとに事業計画を出していただき、助成金を拠出します。

23年度は、最終年度として厚真町滞在プログラムを実施しました。

助成額 80万円、助成予定総額 500万円

7) 北海道災害復興支援基金

胆振東部地震の被災地支援助成の教訓を受けて造成された常設の基金です。23年度は能登半島地震被災地支援助成として、寄付募集を行い、北海道から能登半島に赴いて支援活動をしている3団体に36万円を助成しました。

8) 小林董信基金

当ファンドの連携団体である北海道 NPO サポートセンター前事務局長であり、NPO 法成立時から北海道の NPO の発展に大きな役割を果たされた故小林董信さんを偲び、その功績を後世に伝えるための基金を造成しました。22 年 3 月に北海道 NPO サポートセンターによって開催された「偲ぶ会」をきっかけとして、ゆかりの深い有志の方々を中心に、基金の造成に至りました。

初回助成は、個人の能力向上、団体プロジェクトそれぞれ 2 人 4 プロジェクトが採択され、合計 350 万円を助成しました。

この基金は、北海道 NPO サポートセンターと当ファンドがプロジェクトチームをつくり運営されます。

小林氏が実践されていた人を育て応援することを目指し、総額 1000 万円を 3 年間にわたり助成します。

9) 団体指定寄付

2023 年度はお申し込みはありませんでした。

2. 個人や団体等からの基金の原資を増やす下記の活動を行いました。
各基金の寄付額は以下の通りです。

基金名	金額 [円]	備考
小林董信基金	580,000	21年度に北海道NPOサポートセンターにより造成されました。人を育て応援することを目的とします。
越智基金	0	寄付受付を終了し、市民活動支援基金に移行します。
北のNPO基金 【市民活動支援基金】	10,000	越智基金の後継と位置付けられる、市民活動向け・用途限定なし・少額助成を意図した基金です。
市民活動支援基金 特別枠	0	NPO 法人ほっとステーションひだまり様の寄付により造成されました。ポストコロナの市民活動と、国際紛争からの避難者支援活動に対して助成します。2023年公募助成によりすべてのご寄付を助成しました。
こども基金	0	常設型基金です。
コープ2018年北海道地震ボランティア応援基金	0	北海道生協連様により、胆振東部地震被災地の活動を支援するために造成された冠基金です。総額900万円、寄付募集はしません。
いぶり基金	0	胆振東部地震被災地におけるNPO等支援活動のために造成されました。寄付募集は2020年度までで終了しました。
いぶり基金特別枠	0	バイナンス様の寄付により胆振東部地震被災地の中長期的支援のために造成されました。総額500万円、寄付募集はしません。
厚真町子ども応援基金	0	匿名様より、胆振東部地震被災地で活動する団体を指定した冠基金です。総額500万円、寄付募集はしません。
まちのプロジェクト基金	0円	
北海道災害復興支援基金	383,811円	能登被災地支援基金へのご寄付と、基金自体への寄付をいただきました。Yahoo!ネット募金に登録。
団体指定寄付	0円	
ハンドくんファンド	1,396,241円	北のNPO基金の運営自体を支援していただくために造成された基金です。Yahoo!ネット募金登録中。
合計	2,370,052円	

能登半島地震被災地支援助成には他県の団体からご寄付をいただきました。

3. 自主事業

今年度は、

WAM 助成金説明会 1月

トヨタ財団助成説明会 5月

全国コミュニティ財団協会 北海道東北ブロック会議
を開催しました。自主事業収入総額はおよそ 85 万円でした。

4. 受託事業

NPO 法人北海道エンブリッジ様が幹事団体となるコンソーシアムによる 2023 年度休眠預金等活用法事業「北海道の広域におけるソーシャルビジネス・インキュベーション構築事業」の事務受託をしております。

期間は 2027 年 2 月までで、当会の休眠預金等活用法助成の実績と経験を活かしてバックオフィスを担っています（受託額は 3 年でおよそ 500 万円です）。

3.4. はいずれも当会の助成事業に関わる経験が活かされるタイプの事業であり、今後とも機会があれば受託を目指します。

5. 北の NPO 基金広報活動

■北の NPO 基金の専用サイトの運営のほか、北海道災害復興支援基金、いぞう寄付の窓口のサイトを運営しています。月あたりのページビューは北の NPO 基金で 700 あまりです。

SNS は、X が 230 フォロワー、フェイスブックは北海道 NPO サポートセンターと共用しておりおよそ 900 いいねがあります。

昨年から引き続き Yahoo! ネット募金に北海道 NPO ファンドの運営支援をしていただく「ハンド君ファンド」、また、北海道災害復興支援基金を登録しています。

4. 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンドとしての活動

2023 年度は、他分野の中間支援との連携を継続しています。

1) 北の国災害サポートチームとの連携

また、24 年度活動となりますが、24 年 10 月には共催フォーラムを開催しました。

2) 北海道 NPO サポートセンターとの連携

「小林董信基金の運営」

北海道 NPO サポートセンターと当ファンドでプロジェクトチームをつくり、NPO の発展に多大な貢献をされた故小林氏の功績を後世に伝えるための基金を造成しました。今年は 2 回目の助成を行なました。ホームページ「小林董信アーカイブ」では、助成情報だけでなく氏の足跡を集め公開しています。

3) 休眠預金活用に関わる活動

・休眠預金助成の 2020 年度一般枠資金分配団体として活動しています
コープさっぽろ、北海道 NPO サポートセンターとの連携により、総額 5000 万円程度、北海道内の 3 団体への助成を申請し、日本民間公益活動連携機構に採択されました。2024 年 3 月までで事業を完了しました。

<採択された団体>

NPO 法人いきたす

NPO 法人のこたべ

一般社団法人十勝うらほろ樂舎

・休眠預金助成の 2021 年度一般枠資金分配団体として活動しています
コープさっぽろ、北海道 NPO サポートセンターとの連携により、小中学生年代を対象とした体験・機会格差の是正に取り組む事業を実施しています。総額 6000 万円

(ア)株式会社コエルワ(申請時名称あしたの寺子屋)「地方の子どもの選択格差を解消するモデルの構築～第 3 の居場所と多世代交流プログラムの相乗効果による地域教育エコシステムの構築」事業

(イ)新冠町商工会「地方情報不足解消、体験プログラムを通じた子ども非認知能力向上
～地方人材流出を改める魅力ある地方教育創出とふるさと愛着度向上」事業

(ウ)一般社団法人かやぶきの家まねきや「かやぶきの家と縄文畑の多世代交流活動事
業～「冒険あそび暮らしの地域コミュニティづくり」」事業

・休眠預金助成の 2022 年度事業を実施しています。助成総額は 6000 万円程度
です。

採択団体

一般社団法人にじいろほっかいどう(函館市)：社会的居場所を核とした働き方
と暮らし方の共生の実現～地域コミュニティにおける障がいのある LGBTQ の受
容を目指して：内定助成額 18476410 円

特定非営利活動法人北海道レインボー・リソースセンター L-Port (札幌
市)：望まない孤立に陥りやすい LGBTQ 当事者のセーフティネットから、社会
参加を望む LGBTQ+ 当事者のサポートまで／主に障がいのある LGBTQ+ を対象と
したワンストップ支援の構築：内定助成額 17017541 円

特定非営利活動法人地域生活支援ネットワークサロン(釧路市)：カミングアウ
トから自己表現へ 真の社会参加創造事業／共生社会のアバンギャルドと探求
する社会変革：内定助成額 17398905 円

2024 年度の草の根・通常枠に、申請しましたが残念ながら採択されませんでした。

他団体との連携を視野に入れながら、申請を目指していきます。

先述したとおり、NPO 法人北海道エンブリッジ様が幹事団体となるコンソーシ
アムによる 2023 年度休眠預金等活用法事業「北海道の広域におけるソーシャ
ルビジネス・インキュベーション構築事業」の事務受託をしております。
休眠預金助成に関しては他県から問い合わせをいただくこともあります。事務
受託やコンソーシウム、単独申請など幅広い可能性を追求します。

4)全国コミュニティ財団協会、全国レガシーギフト協会正会員として活動しま
した。

・全国コミュニティ財団協会

正会員として加盟しています。地域の資金循環を担う財団のネットワークによる情報交換、連携・協働を目指します。

22年～3年にかけて当ファンドが北海道東北ブロックのブロック長となりましたので、ブロック研修企画を実施しました。

・全国レガシーギフト協会

遺贈寄付の相談窓口業務を実施しました。

・SIMI(社会的インパクトマネジメントイニシアチブ)

昨年度まで賛同メンバーでした。社会的インパクト評価や組織評価は、助成事業やSDGsとの関連で語られることが増えています。現状当会は有料のメンバーシップではありませんが、こうした組織の動向を注視し、参加の可能性を検討したいと考えています。

5) いぞう寄付の相談窓口業務

超高齢化社会を迎え、独り身の方や高齢の方が社会や故郷に有意義に財産を活用してほしいという相談が増えていくことが予想されます。当ファンドでは、全国レガシーギフト協会に加盟し遺贈寄付の相談窓口を開設しています。2023年度の相談は4件ありました。専用サイトを開設し広報をしています。

8) 寄付月間 2023 のアンバサダーとして活動

欲しい未来に寄付を贈ろうという趣旨で、寄付月間推進委員会により運営されている、全国的なキャンペーンです。共同事務局に参加し、またキャンペーンに参加しました。

9) グッドガバナンス認証取得へ向けた活動

グッドガバナンス認証の取得には至りませんでした。